

2025 年 3 月

番組審議会議事録

蕨ケーブルビジョン(株)
番組審議会

- 開催日時 2025 年 3 月 13 日 15 時～
- 開催場所 蕨ケーブルビジョン(株)本社 1F スタジオ会議室
- 出席者（審議委員）高野治・青木祥夫・池田嘉弘
(CATV) 矢野淳一郎・木下徹・青木和美・河野和弘・山家仁

当番組審議会は放送番組審議会規定に基づき、放送番組基準及び自主放送番組編成基本理念の精神を反映した審議を行った結果、下記の事項の改善及び対応を蕨ケーブルビジョン(株)に要望するものである。

①	■2024 年度 ウィンクチャンネルタイムテーブル番組概要説明
②	■「"わらの細道" 第 23 回・南町の古い写真」番組説明後、視聴 初回放送日時：2025 年 1 月 22 日 7:30～ 【趣旨】 わらびのまちの普段通っている道から一歩外れた路地を探索する番組。 細道というタイトルどおり、路地の散策を行う側面と、より深く細部に渡り わらびを探索する側面を基本として制作している。 【番組構成】（番組尺 15 分程度） ・ナレーションを行う女性 1 名と番組内アニメキャラクター道成さんが二人で 散策を行う。 ・蕨に詳しい方と現地に赴き散策を行う。 ・味わいや特徴がある路地を散策する ・蕨の景観、建築等で特筆すべきものに着目し鑑賞及び考察を行う ・過去にあったが現在 失われた蕨の様相と今の蕨の様相を比較する

【「第 23 回 南町の古い写真」解説】

蕨市在住の歴史研究家 潮地ルミ先生から、昭和 30 年前後の第一中学校付近の写真をご提供いただいた。その写真をもとに蕨に関心がある二人が現地に赴き、蕨の今と昔を比較し考察、感慨を話す。

③

■視聴後の意見・質問

(委員) 番組の長さが 15 分位で丁度よいと感じた。

町の記録になるので良いと思う。

(委員) 写真を集めたり募集したりすると、色々な意味で記録になり、より良いのでは。

(委員) 市民の出演者二人が、よく話せていると思う。
しかし、一つの話題に対して尺が長いと感じるので、もう少し展開が欲しい。

(委員) 我々のように昔から蕨に住んでいる人は懐かしいと思って観るが、若い人たちや、引っ越してきた人達にはそこまで掘り下げなくてもよいかもしれない。

(委員) 話題に関連した写真等を入れて、映像のバリエーションを増やすとより飽きさせないで観られると思う。

(委員) (番組中に取り上げた) だるま屋は、店舗は既にはないが関係者が住んでおられるかもしれないので、あたってみてもよかったかもしれない。写真が残っているかも。古くから住んでいる人は皆知っているので、深掘りのしがいがある。

委員の皆さんから、具体的に取り上げると良い市井に根差した歴史的な対象をご提案いただいた。

・駄菓子屋 ・模型屋 ・ゲームセンター ・映画館 等

④

■その他

現在、進めているライブカメラ（お天気カメラ）について説明。

（委員） 蕨駅西口駅前であれば、再開発が進んでいく様子が見られて良いと思う。

（委員） どのチャンネルで観られるようにするのか？

（CATV）・111ch で特定の時間に放送

- ・サブチャンネルで常時放送
- ・ネット配信 等を検討中

（委員）（社屋屋上のカメラ）は、どちらを向いているのか分からなかった。

（委員） 人の顔などが映ったら、クレーム等は来ないのか？（※プライバシー配慮）

（CATV）・顔が識別できるような画面サイズではない。

- ・民家などは窓等にボカシを入れている。

（委員） YouTube 等の配信サービスで流したときに収益は得られるのか？

（CATV）・想定される視聴者数からすると、配信収益はほぼ無いと思われる。

- ・広告出稿という形では検討したい

（委員） 市内の情報や天気、お知らせ等を話してくれるアナウンサーが居る番組を希望。

AI のキャラクターでもよい。

ラジオのように視聴者からのお便りを読むのもよい。

詩や俳句などでも。

なるべく直近のフレッシュな話題を取り上げる。

- ・町内会・子ども会の現状と外国人の加入状況について。
- ・委員から、小学生が描いた商店街のペナントの話題を教えていただく。
そちらは取材・放送することとする。

（委員） 引き続き、地域に寄り添った番組づくり、放送をよろしくお願いします。

以上